**2021年7月19日　改訂（第6版）
*2012年12月26日　改訂（第5版）
2012年 7月21日　改訂（第4版）

製造販売届出番号：13B3X00237000002

一般医療機器　器74医薬品注入器 浣腸用キット　JMDN11582000

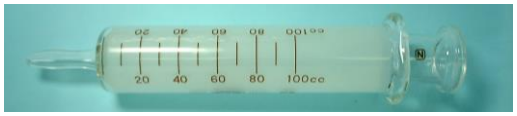
# ＶＡＮガラス浣腸器

**【警告】**
●医療目的以外では使用しないこと。

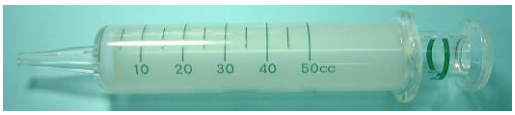
**【形状・構造及び原理等】**
●本品は硬質硼珪酸ガラス製の外筒、内筒からなり目盛容量、筒先の形状は以下のものがあります。

容量及び筒先形状
浣腸先：　30,50,100ml
バルーン先：　30,50,100ml

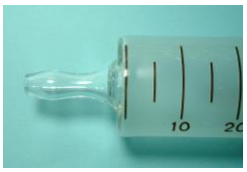
（各注射筒外観図）　各写真の縮尺度は同じではありません



100ml浣腸先注射筒



50mlバルーン先注射筒



浣腸先先端拡大図



バルーン先先端拡大図

（材質）
硼硅酸ガラス

（主なガラス注射器の種類）
ガラス注射筒の代表的な種類として、外筒内筒に各々同じ番号（一部記号を含む）を記載し同一番号同士を組み合わせる従来型の注射器<白硬注射筒>と、
Ｎ、Ｉ等の規格を同様に記載し、且つ各寸法を統一し（同一規格、同一容量であればどの外筒と内筒でも組み合わせることの出来る<ｲﾝﾀｰﾁｪﾝｼﾞｬﾌﾞﾙ注射筒>）があります

（原理）
シリンダ（外筒）ピストン（内筒）を動かすことにより液体や気体を吸入もしくは排出する。

**【使用目的又は効果】**
●ガラス製の浣腸器で薬液の注入に使用する、又その他の使用方法として間接的に体内の内容物の吸引や洗浄に使用できる。

**【使用方法等】**
●使用前に外筒と内筒を洗浄、滅菌してください。
■洗浄方法　仮洗浄にて汚れを落としたあと、超音波洗浄等により異物を完全に除去し、乾燥してください。
■滅菌方法　洗浄、乾燥後の外筒、内筒を別々にし、汚染に注意して高圧滅菌等を行ってください。
（オートクレーブ滅菌が一般的です）
●滅菌後外筒と内筒を組み合わせてください。
●薬液の注入や吸引等、目的に応じて使用してしようしてください。
●使用後は速やかに外筒と内筒を外し、汚れが乾燥しこびりつかないように消毒液等に浸してください。
※再滅菌して使用する際も同様の方法で滅菌してください。

**＜使用方法に関連する使用上の注意＞**
●他の医療機器と併用する場合には、確実に接続又は取り付けられていることを確認してください。
●注射針の取り付けの際針先に無理な力がかからない様に注意してください。
●各接続部に液漏れ等の不具合が認められた場合には使用を取りやめてください。

**【使用上の注意】**
**＜重要な基本的注意＞**
●本品に他の製品を接続し使用する場合には、各製品の添付文書等を読んで、その指示に従って使用してください
●本体に衝撃を与えないよう取扱いには十分に注意してください。
●キズ、ひび割れや液漏れ等の異常が認められた場合には速やかに使用を中止してください。
●研磨剤入り洗浄剤又は強アルカリ・強酸性の洗剤、消毒液は本製品を腐食させる恐れがあるので使用しないでください。
●外筒と内筒を組み合わせる際には十分に注意をしてください。
■組み合わせ途中でひっかかったり、動かなくなってしまった場合には無理に力を加えずにいったん組み合わせを解除し、改めて組みなおしてください。
■ゆっくりねじる様に組み合わせるとスムーズに組み合わせることができます。

**【保管方法及び有効期間等】**
●水ぬれに注意し、高温多湿、直射日光のあたる場所は避けて保管してください。

**【保守・点検に係わる事項】**
●使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬液が乾燥しないうちに、水または洗浄液等に浸した後洗浄してください。
（洗浄水は蒸留水又は純水の使用が効果的です）
洗浄後は保管期間の長短にかかわらず乾燥してください。
●洗浄後滅菌バック等に入れて滅菌して保管してください。
（オートクレーブ滅菌が一般的です）

ﾊﾞﾙｰﾝ先はｲﾝﾀｰﾀｲﾌﾟのみです

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**
製造販売元
翼工業株式会社（添付文書の請求先）
〒116-0003　東京都荒川区南千住3-11-3
ＴＥＬ　03-3807-5151
製造元
翼工業株式会社